

第35回 岩手ダービー

ダイヤモンドカップ[®] 優勝賞金500万円 (ナカヤマフェスタ賞)

スタート後に坂をのぼり、そしてゴール直前に再び坂が待ち受けるのが、盛岡競馬場の舞台設定。底力があるかどうかが問われるコースだ。

注目の競走馬



スペクトル

父 / スニツツェル
母 / オトハチャン
母父 / チーフベアハート

馬主 / 山本 武司
調教師 / 櫻田 浩三
生産者 / びらとり牧場

注目点 これまで大きく崩れたのは、北海道所属馬との交流競走、知床賞での5着のみ。逃げ脚をいかすタイプ

ブだけに後続の目標になりやすい面はあるが、やまびこ賞では2着以下を寄せ付けぬ走劇で圧勝。大型の馬体が生み出すスピードには、引き続き注目だ。



トーホクライデン

父 / ウイングアロー
母 / アキノクロス
母父 / タマモクロス

馬主 / 榎フォレブルー
調教師 / 櫻田 浩樹
生産者 / 榎フォレブルー

注目点 2歳秋に短距離戦で勝利を挙げたが、その後は善戦止まりという状況。それでも7戦連続で3着以内に

入るなど、相手なりに走れるという面はプラス材料で、大舞台でも善戦以上が期待できそう。ちなみに本馬は青森県生まれ。



グッドギアー

父 / ススカマンボ
母 / ワンモアフリート
母父 / アフリート

馬主 / 川村 初美
調教師 / 櫻田 康二
生産者 / グランド牧場

注目点 北海道所属時は11戦1勝だったが、岩手移籍を機に素質が開花して、転入初戦から6戦連続で連対。留

守杯日高賞では5着に敗れたが、それでも岩手所属馬では最先着。マイペースの逃げ先行ならしむタイプで、残り目には警戒が必要だろう。

コース紹介

盛岡競馬場 2000m

- 左回りコース
- 1周1600m
- 幅25m
- ダービー出走可能頭数12頭



コース 日本で唯一となる、ダートコースの内側に芝コースがある配置。ダートコースは1周1600mと広大で、昨年のJBCでは16頭立てでレースが行われたが、岩手ダービーは12頭が最大出走可能頭数に設定されている。ホームストレッチに用意されている上り坂が、このコースの最大の難所。ダートコースの高低差4.4mは、地方競馬ではもっとも大きいものである。

アクセス 盛岡駅東口バスロータリーの8番乗り場から、9時30分～13時30分まで、毎時30分発で無料バスを運行。帰路は14時発から最終レース後まで無料バス4本を運行している(所要時間は約30分)。盛岡駅からタクシーを利用すると2500円前後。そのほかに公共交通機関はないので注意が必要だ。盛岡競馬場には無料駐車場が用意されているので、レンタカーで向かうという方法もある。

単勝	○	枠番連複	○	馬番連複	○	ワイド	○	3連単	○
複勝	○	枠番連単	×	馬番連単	○	3連複	○	重勝式	○



「ダービージョッキーに聞く」

ダービーの思い出

岩手ダービーダイヤモンドカップ
山本 政聡 騎手

2012年に岩手ダービーを制した山本政聡騎手のパートナーは、アスペクト。「走る馬って、こういう感じなんだ」ということを教わったと言います。「馬が何を考えているんだろうと、自分も考えながら乗る。そういうやりとりができた馬でした」と、振り返ります。

「2歳時から何度も乗っていましたが、力を付けていく過程や、調子が上がる時、逆に下がる時も背中の上で感じる事ができました。それを一緒に感じながら進んできたからこそ、アスペクトの力を信じて乗ることができたと思います。そうやって馬の成長と一緒に感じながら戦えるのが、3歳のビッグレースの楽しさであり騎手の面白さですよ」と、大舞台を制した経験は、山本政聡騎手のなかに生きている様子だ。「自分にとって岩手ダービーは、古馬の大レースに匹敵するほどの価値があります。もちろんどのレースも勝ちたいですが、1年のなかではまずこのレース。とくにここ何年かは良い馬に乗せてもらっていますから、その期待に応えたいです」と、2回目の勝利に向けて気合が入っている。

プレイバック&データ

第34回 岩手ダービーダイヤモンドカップ 2000m/11頭/盛岡 晴良 2014.6.2

順	種	馬名	所属	性	年齢	騎手	調教師	タイム	着差	人気
1	④	ライズライン	岩手	牡	5/6	村上忍	千葉幸	2.10.7	①	
2	⑥	シグラップロード	岩手	牡	3/5/6	山本聡	板垣吉	6	③	
3	⑧	ラブレット	岩手	牡	3/5/6	齋藤雄	菅原勲	大差	④	
4	⑦	フラッシュモブ	岩手	牝	3/5/4	西谷泰	関本浩	½	⑦	
5	⑤	グランドバリュー	岩手	牡	3/5/4	山本政	櫻田康	½	⑥	



第34回(2014)ライズライン

レビュー 2歳時に若駒賞、南部駒賞を制し、前走のやまびこ賞を7馬身差で圧勝したライズラインが単勝1.2倍の断然人気。前走よりマイナス16kgの馬体重は心配されたが、楽に2番手でレースを進め、最後の直線では独走に。6馬身差の2着には3番人気のシグラップロードが入ったが、そこから3着馬までは2.2秒もの差がついた。

第33回 DATA 2013

盛岡/2000m/11頭/2013.6.3/豊良

順	種	馬名	所属	性	年齢	騎手	タイム	着差	人気
1	⑧	⑪	ウイゼロワン	岩手	牡	5/6	高松亮	2.12.7	④
2	⑧	③	ハカタドンタク	岩手	牡	5/6	山本政	1½	①
3	⑥	⑤	テンショウリバイヴ	岩手	牡	5/6	山本聡	4	⑧

第32回 DATA 2012

盛岡/2000m/11頭/2012.6.4/晴良

順	種	馬名	所属	性	年齢	騎手	タイム	着差	人気
1	⑧	⑩	アスペクト	岩手	牡	5/6	山本政	2.07.3	②
2	⑦	⑧	ロッソコルサ	岩手	牡	5/6	村上忍	2	①
3	②	②	トーホクアロー	岩手	牡	5/6	山本聡	大差	③

第31回 DATA 2011

盛岡/2000m/10頭/2011.6.3/豊良

順	種	馬名	所属	性	年齢	騎手	タイム	着差	人気
1	⑧	⑩	ベストマイヒーロー	岩手	牡	5/6	菅原勲	2.11.8	①
2	②	②	スパルタン	岩手	牡	5/6	陶文峰	5	⑥
3	④	④	ヤマトスバル	岩手	牡	5/6	小林俊	½	②

データ分析

単勝人気別成績

※過去9年間のデータを分析

単勝人気	成績	勝率	連対率	3着内率
1番人気	6-2-1-0	66.7%	88.9%	100%
2番人気	2-2-1-4	22.2%	44.4%	55.6%
3番人気	0-4-2-3	0%	44.4%	66.7%
4番人気以下	1-1-5-64	1.4%	2.8%	9.9%

レポート 岩手ダービーダイヤモンドカップは、単勝1番人気馬が強いレース。3着に敗れたのは2008年だけで、そのほかはすべて2着以内となっている。4番人気以下で勝利したのは一昨年のウイゼロワン(4番人気)だけで、2着も2011年のスパルタン(6番人気)のみだ。

馬体重別成績

※過去10年間のデータを分析

当日の馬体重	成績	勝率	連対率	3着内率
400kg未満	0-0-0-2	0%	0%	0%
400~440kg	1-1-2-21	4.0%	8.0%	16.0%
441~460kg	2-4-2-19	7.4%	22.2%	29.6%
461~480kg	2-2-3-13	10.0%	20.0%	35.0%
481~500kg	3-1-0-14	16.7%	22.2%	22.2%
501kg以上	1-1-2-2	16.7%	33.3%	66.7%

レポート 岩手ダービーの舞台は、ホームストレッチにある上り坂を2回クリアする必要があるタフなコース。そこに対応するためにはある程度の馬格があったほうが有利といえそう。2009年は402kgのマヨノエンゼルが制したが、相対的にはいまひとつだ。

2走前までに〇〇賞を勝利していた馬に注目!

※過去9年間のデータを分析

年度	着順	馬名	該当レース
06年	1着	オウシュウクラウン	前走 はまなす賞
	2着	サイレントエクセル	2走前 留守杯日高賞
07年	1着	セントセーリング	前走 阿久利黒賞
	2着	マツリダワルツ	前走 ひまわり賞
08年	1着	ゴールドンクリーク	前走 七時雨賞
09年	1着	マヨノエンゼル	2走前 阿久利黒賞
10年	1着	ロックハンドスター	前走 阿久利黒賞
	2着	モエレフットライト	前走 七時雨賞
11年	1着	ベストマイヒーロー	前走 七時雨賞
12年	2着	ロッソコルサ	前走 七時雨賞
13年	2着	ハカタドンタク	前走 はまなす賞
14年	1着	ライズライン	前走 やまびこ賞

レポート ダービーウィークが始まって以降、岩手ダービーでは毎年「2走前までに〇〇賞」を制していたという馬が1頭以上連対。最近4年は「1頭だけ」連対しているのが特徴的。今年もそういった戦歴をもっている馬には要注目だ。



第33回(2013)ウイゼロワン



第32回(2012)アスペクト(右)